

氏 名 平山 勝将

主論文審査の要旨

平山は「水中パルスストリーマ状放電によるスサビノリ遺伝子の活性化」と題して、これまでに四年にわたり研究を進めてきた。その内容は、スサビノリのレトロトランスポゾン遺伝子活性化方法として、パルスストリーマ放電による複合ストレスを新規に提案し、それを実証するとともに、その活性化特性を把握したことであった。

最終試験の研究成果発表及びその質疑応答においては、十分に研究内容を理解し、かつ、その説明方法も適切であったと委員より判断され、また、既に研究成果を査読付論文 3 編（うち第一著者 2 編）及び査読付国際会議プロシーディングス 3 編（うち第一著者 1 編）として公表し、これは本講座の学位審査基準を満たしている。そのため、本論文は博士（工学）の課程博士論文として十分な内容であると判断した。

最終試験において、審査委員会は学位論文提出者に対して論文内容を中心に諮問をおこない、その結果、学位論文提出者は当該及び関連分野に対する十分な知識と理解を有しており、研究遂行能力を十分に有していると認めた。また、外国語に関しては、英語による論文発表より、十分な能力があると認めた。以上の結果より、審査委員会は最終試験を合格と判定した。

主 査 浪平 隆男（バイオエレクトリクス研究センター）

委 員 秋山 秀典（複合新領域科学専攻 衝撃エネルギー科学講座）

委 員 勝木 淳（バイオエレクトリクス研究センター）

委 員 矢野 憲一（バイオエレクトリクス研究センター）

委 員 Hamid Hosseini（バイオエレクトリクス研究センター）

委 員 佐久川 貴志（複合新領域科学専攻 衝撃エネルギー科学講座）